

樹木診断書

no.1

NO 713		受付者 長崎信隆	
調査年月日 7 年 6 月 10 日		調査者 林 好	
樹種名 サクラ		場所 岐阜市高田3丁目18境川堤防	
管理者 小川 光正 電話 080-5161-6622		立会者 小川 光正 他1名	
位置 高田橋～高野桜橋 右岸 中程付近			
形状	樹高 3.2m	枝下高 0.3 m	
	葉張り 北1.3m 東0.9m 南1.3m 西0.6m		
	幹周 0.19m		
生育環境	地形 堤防法面		
	地質 砂質壤土		
	植生等 サクラ他、雑草多		
	工作物 アスファルト道路、コンクリート護岸		
その他 日照はほぼ良い			
通常管理	剪定等 適宜		車道
	施肥 適宜		
	消毒等 適宜		
樹木の状況		枯死	



サクラ



樹



コスカシバ



クビアカツヤカミキリ

高田橋を中心に境川の両岸に約70年前に植えられた桜で約百数十本が残り、枯れた桜の付近にて3～4年前に補植された桜の内の1本が最近枯れています。

そこで、枯れた原因として考えられること

- ① 植栽後3年が経ち、枝葉も茂り幹も太り始めているが、手でゆするとぐらぐらと動き、根の周りに穴が開いていることから根切り虫やモグラなどにより根の発育が阻害され、根が枝葉とのバランスに合った成長が出来ないでいて、春の芽吹き後にそれを維持出来なかった為。
- ② 植栽箇所は土壌の入れ替えが行われていますが、そのすぐ上が盛り上がり残り、入れ替えた土壌の域を超えて根が伸びた箇所に過去に枯れた桜の根や何らかの根の発育を阻害する悪性の菌(連作障害の主な原因)が残っていた為に根の量が不足して、枝葉を維持出来なかった為。
- ③ 幹下部の過去の傷口の一部から穿孔虫による穴からゼリー状の樹脂が多く出ています、まだクビアカツヤカミキリの被害は岐阜市近郊では確認されていないのでおそらくコスカシバによるものと考えられ、目では見えない幹内部が食い荒らされ養分や水分の流通が阻害された為。
- ④ 他の樹木に比べ下部に植えられていて、酸素を多く必要とするサクラの根が増水時につかり衰弱していた為。など様々な要因が重なった為と思われます。